

## 3-3 Azureストレージサービス

Azureのストレージサービスについて確認します。仮想マシンを代表とするさまざまなサービスでAzureのストレージを利用可能です。システムのデータの保存場所として利用することが可能です。

### 1 Azureストレージサービス

Azureストレージサービスは、Azure上で、データを保存するサービスです。インターネットを介した保存や、仮想マシンのデータ保存、その他Azure上のさまざまなサービスからデータを保存することが可能です。また、Azureストレージは、Http・Httpsを利用して、データを利用することが可能です。

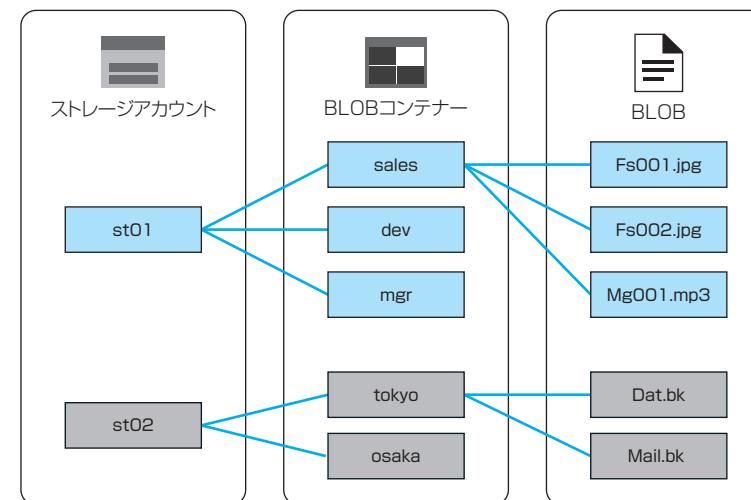
#### (1) Azureストレージアカウント

Azureストレージの利用には、ストレージアカウントを利用します。ストレージアカウントをリソースとして登録することで、全世界からAzureストレージにアクセスすることが可能となります。

ストレージアカウントは、名前にアカウントとありますが、Azureの1つのリソースを指しており、ストレージアカウントはユーザーアカウントとは異なります。

ストレージアカウントの作成をすると、データ保存に利用できる **BLOB** と **Files** の2つのサービスが利用できます。この2サービスがAzureストレージでよく利用されます。右ページの図は、BLOBを利用した際のデータの階層構造を説明しています。

#### ▼ BLOBを利用した際のデータの階層構造



また、仮想マシンの仮想HDDとしては、Azure ディスクが利用されます。あわせて、ストレージアカウントを作成することで利用できるサービスには、以下のようなサービスが存在します。

- Azure Files
- Azure BLOB
- Azure ディスク
- Azure Elastic SAN<sup>※</sup>
- Azure Container Storage<sup>※</sup>
- Azure キュー
- Azure テーブル
- Azure NetApp Files

※ 2024年1月時点ではプレビュー

くわしくは以下のサイトを参考にしてください。

#### 参考 Azure Storageの概要

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/storage/common/storage-introduction>



ストレージアカウントの作成時には、冗長構成やパフォーマンスに関わるポイントが多数あるため、作成時に注意をする必要があります。